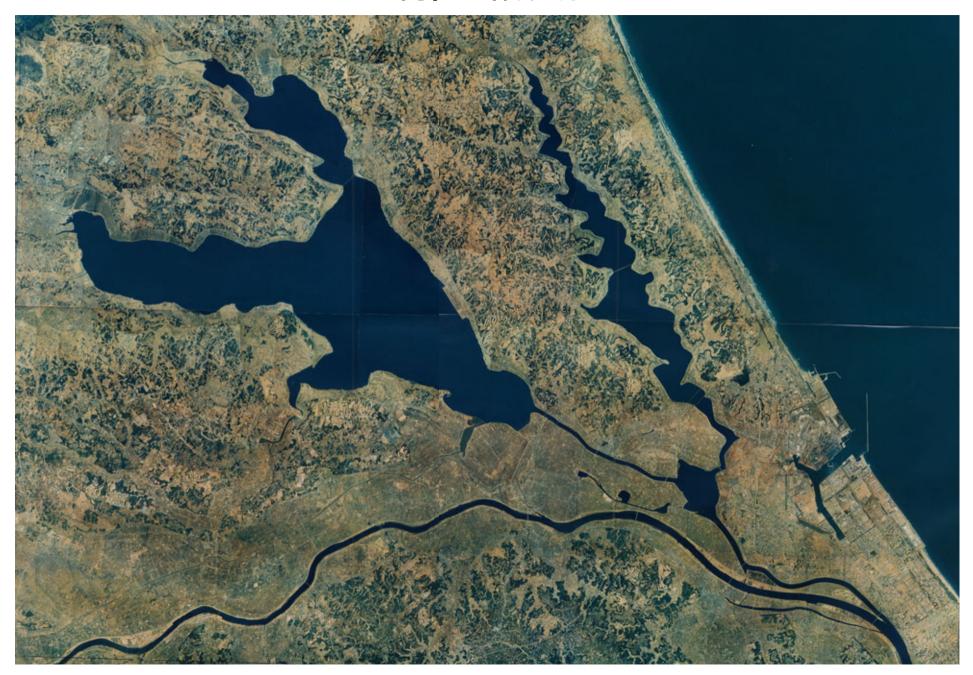
現在の霞ヶ浦





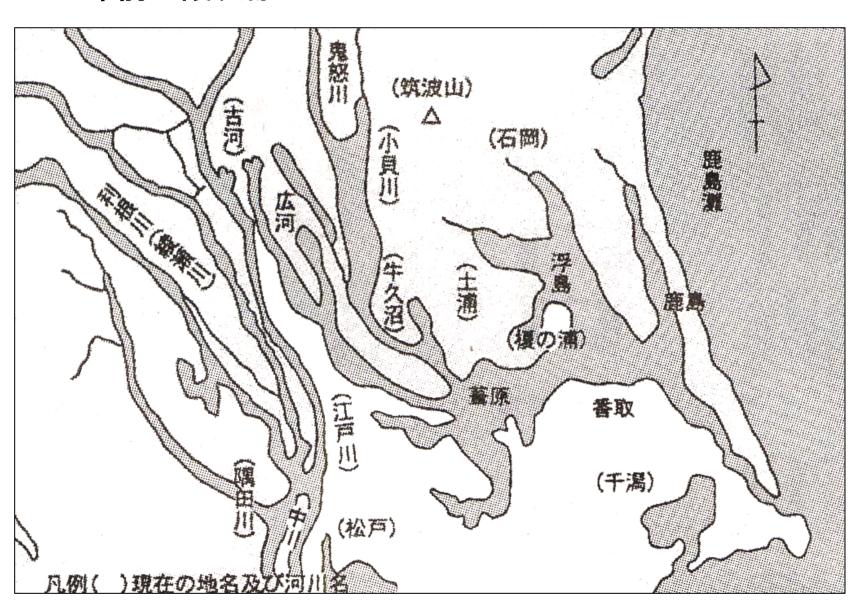
霞ヶ浦における代表的な洪水

発生年月	水位	流域平均降雨量	備考
昭和13年6,7月	Y.P.+3.34m	600mm(7日間)	台風
昭和16年7月	Y.P.+2.90m	315mm(4日間)	台風8号
昭和22年9月	Y.P.+1.96m	179mm(5日間)	台風9号(カスリン)
昭和25年7月	Y.P.+2.34m	248mm(10日間)	台風17号
昭和33年9月	Y.P.+2.30m	246mm(5日間)	台風22号(狩野川)
昭和36年6,7月	Y.P.+1.96m	300mm(7日間)	前線
昭和46年9月	Y.P.+1.91m	312mm(9日間)	台風23号、25号
昭和52年8月	Y.P.+1.84m	212mm(7日間)	前線、熱帯低気圧
昭和57年9月	Y.P.+1.80m	175mm(3日間)	台風18号
昭和60年6,7月	Y.P.+1.89m	115mm(2日間)	台風6号
昭和61年8月	Y.P.+2.05m	238mm(2日間)	台風10号
平成3年9月	Y.P.+2.31m	198mm(2日間)	台風18号
平成3年10月	Y.P.+2.50m	279mm(9日間)	台風21号
平成13年10月	Y.P.+1.86m	167mm(2日間)	前線
平成16年10月	Y.P.+2.25m	276mm(8日間)	前線、台風22号

昭和36年以前 井上水位観測所/昭和46年以降 出島水位観測所

霞ヶ浦の成り立ち

1000年前の霞ヶ浦



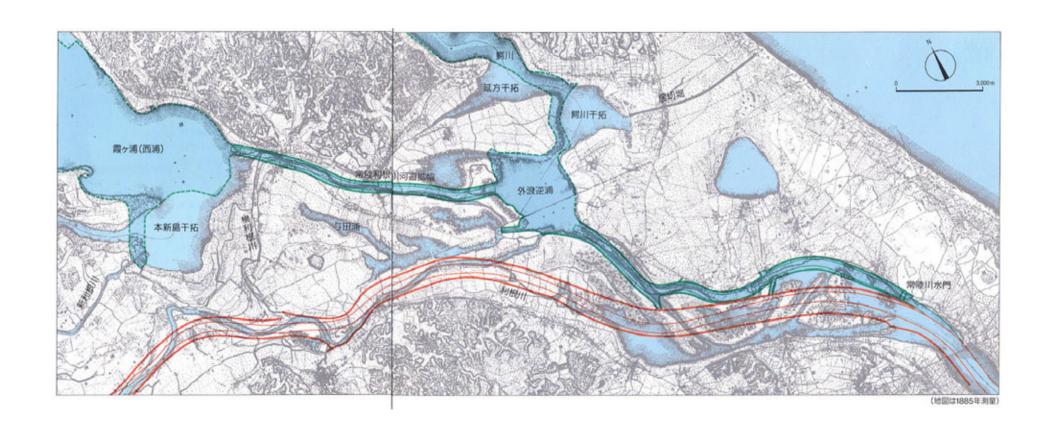


改修の変遷

明治	2年	中館広之助により鰐川〜鹿島灘への放水路居切掘(堀割川)に着手
	4年	東京府により竣工(推定)
	33年	利根川第一期改修工事による利根川本川付替により、常陸川の現改修工事 以前の姿が出来る
	43年	8月洪水発生
大正		
昭和	13年	6-7月洪水発生
	16年	7月洪水発生
	23年	法河川に指定
		北利根川潮来地先の河道浚渫に着手
	28年	北利根川永山地先の築堤に着手
	33年	常陸川水門着手(昭和34年2月)
	35~38年	北利根川の境島地先の引堤完成
	38年	常陸川水門竣工(5月)
	40~43年	北利根川加藤洲地先の引堤完成
	42年	霞ヶ浦工事事務所発足
		西浦島並地先、北浦釜谷地先の湖岸堤に着手
	45年	霞ヶ浦開発事業着手
	47年	前川水門竣工(昭和48年3月)
平成	2年	田伏地区で波浪対策に着手
		河道浚渫完了
	3年	台風18号により洪水発生(9月) (<mark>戦後最大</mark>)
	7年	霞ヶ浦開発事業完了、堤防暫定完成
	9年	波浪対策工着手

常陸利根川(北利根川・常陸川拡幅)

常陸利根川•利根川下流改修計画



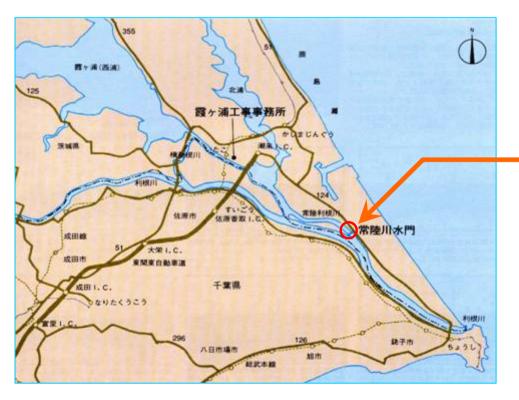
霞ヶ浦における主な塩害

昭和 年	農業と塩害
32	神栖村に塩害発生(5月)
33	鹿島・行方・稲敷郡に塩害発生(6月~8月)
35	鹿島・行方・稲敷郡に塩害発生(7月)
36	鹿島・行方・稲敷郡に塩害発生(6月)
37	鹿島・行方・稲敷郡に塩害発生
38	鹿島・行方・稲敷郡に塩害発生
39	鹿島・行方・南部地域に塩害発生
41	鹿島・行方・南部地域に塩害発生
42	鹿島・行方・南部・西部地域に塩害発生
48	沖之州常陸川流域で塩害発生(8月)
49	北浦・常陸川流域で塩害発生(5月~9月)

常陸川水門

常陸川水門は、昭和38年に完成し、現在では以下の重要な役割を果たしています。

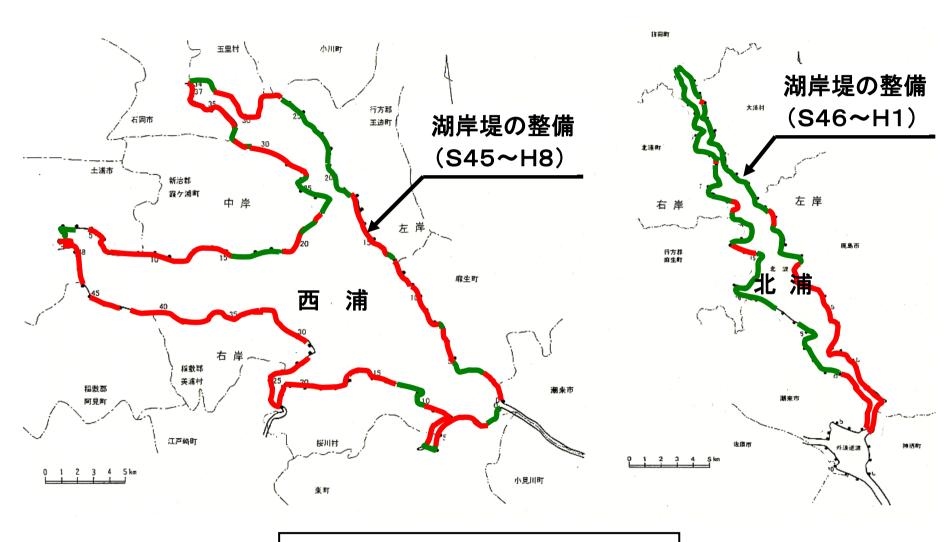
- ◎ 洪水のとき、利根川本川からの逆流を防ぐ(逆流防止)
- ◎ 利根川から塩水が遡上するのを防ぐ(塩分遡上防止)
- ◎ 霞ヶ浦の水位を維持し、地域に安定的に水を送る(水位管理)





常陸川水門 S38完成

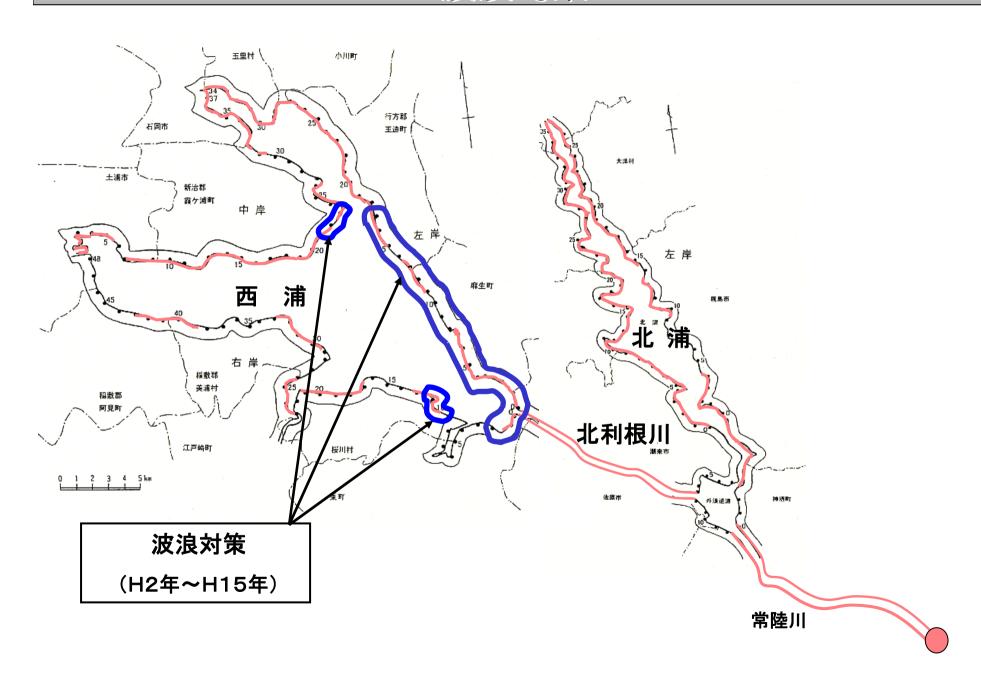
湖岸堤築造



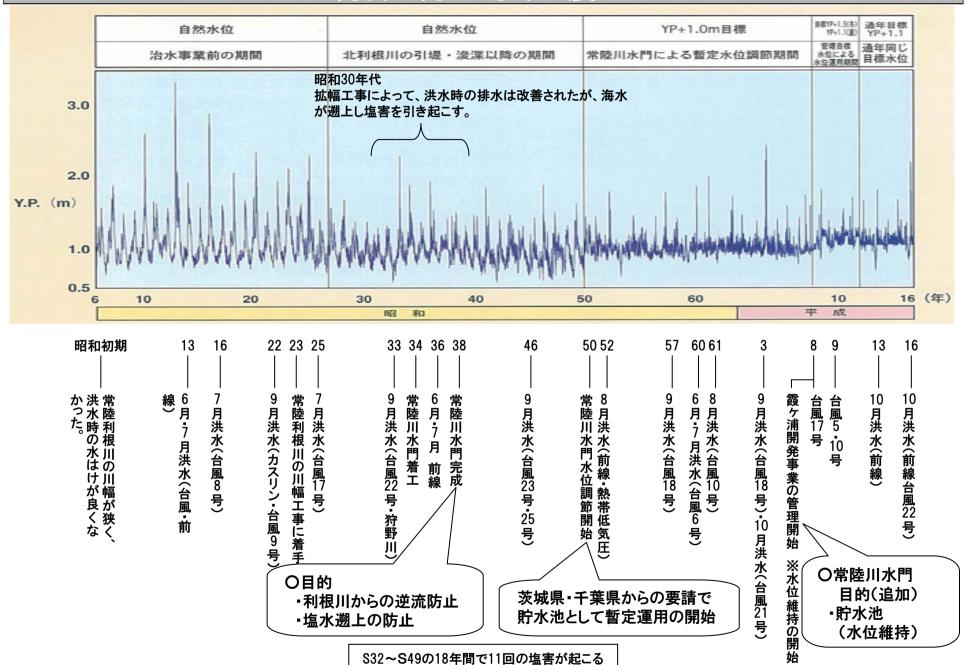
: 堤防強化(S45~H8)

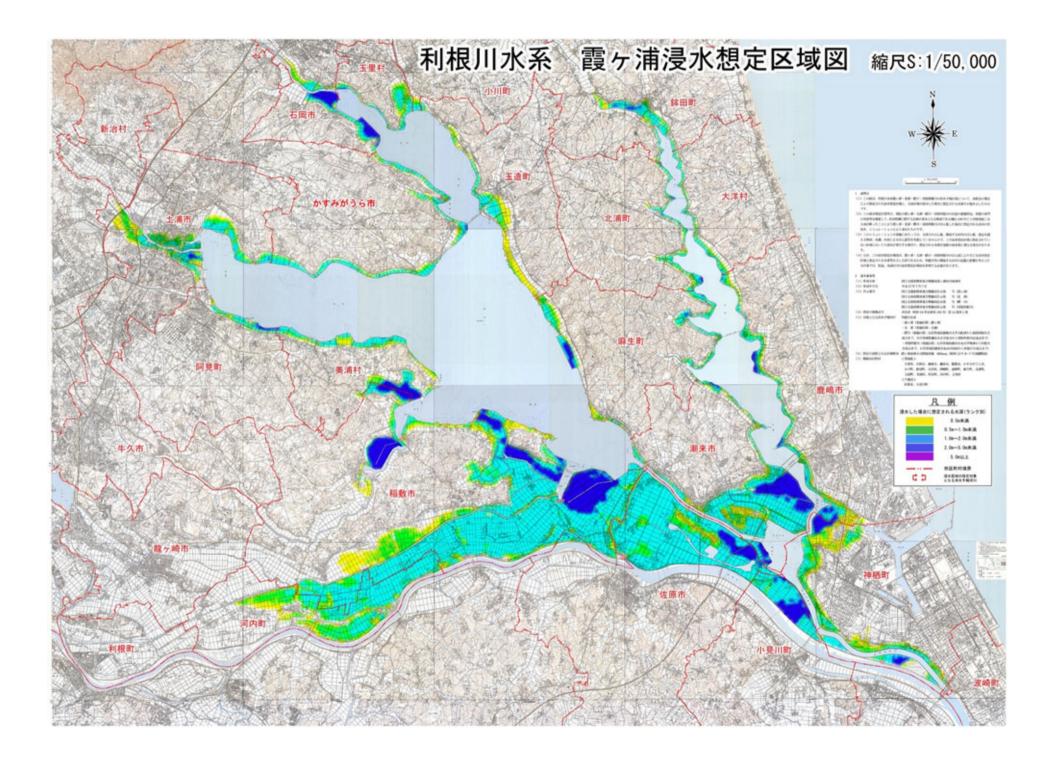
: 無堤部築堤(S46~H1)

波浪対策



霞ヶ浦の水位履歴







避難先の位置・名称

連絡先

- · 行政機関
- 医療機関
- ・ライフライン 管理機関

河川整備基本方針 河川整備計画

旧 河 事 Ш 制 実 内容:基本方針、基本高水、計画高水流量等 度 主な河川工事の内容 施 事 基 工事実施基本計画 本 の案の作成 河川審議会 計 (一級水系) 意見 工事実施基本計画 画 の決定

